

ファンドの運用状況

— 巨大な世界市場を舞台に成長を続ける日本のコンテンツ —

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド
愛称:エンタメ∞ニッポン 追加型投信/国内/株式



▶ 平素は「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド(以下、当ファンド)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドの運用状況についてご紹介します。

ファンドの運用状況について

生成AIが投げかけた構造変化への問い

当ファンドの基準価額は、1月中旬から足元にかけて軟調な推移となりました。株式市場全体では、生成AIに対する成長期待の高まりを背景に半導体関連株への物色が続く一方で、生成AIの普及によってネガティブな影響を受ける可能性がある産業も意識され始めました。実際に、コンサルティング業やITサービス業などでは株価が大きく調整する動きが見られています。こうした流れの中、コンテンツ関連株においても、生成AIの進展が将来的に事業構造へ影響を及ぼす可能性への懸念から、株価は調整する動きとなりました。特に、1月29日にGoogleが発表した「Project Genie」は、テキスト入力からインタラクティブな仮想世界を生成する技術として紹介され、**ゲーム産業の制作手法や収益構造が変化**するのではないかとの見方が広がりました。



生成AI懸念とコンテンツ産業の本質

生成AIの進展により、キャラクターや映像、ゲーム体験などを従来よりも容易に生成できる可能性が示され、これにより、「コンテンツ制作のハードルが大きく下がるのではないかと」の懸念が市場で広がっています。

しかし、コンテンツ産業の本質は**“作る力”**そのものではなく、“**人気を得る力**”にあります。生成AIは制作工程を効率化する可能性はありますが、ヒット作品の創出には、世界観設計、演出、マーケティング、ブランド構築、といった複合的な要素が不可欠です。これらは単なる生成能力だけでは代替しにくい領域です。日本のコンテンツ関連企業は、世界的に高い評価を受けるIPを多数保有しており、ヒットを創出しブランド価値を高める力に強みがあり、生成AIの進展が既存IPの競争力に与えるネガティブな影響は限定的と考えられます。一方で、制作工程への活用を通じてコスト削減や開発効率の向上につながる可能性もあり、ポジティブな側面も無視できません。こうした点を踏まえると、足元の株式市場の反応は過剰な面があると考えています。

図表2 コンテンツ制作におけるAIの役割

生成AIが得意な領域

- ▶ 画像生成・背景製作
- ▶ 品質管理
- ▶ 翻訳作業
- ▶ プログラミング・デバッグ補助

生成AIが不得意な領域

- ▶ 世界観の設計
- ▶ 演出
- ▶ マーケティング
- ▶ ブランディング

(出所)各種資料を基にSBI岡三アセットマネジメント作成



コンテンツ関連株の10-12月期決算速報！

懸念材料は顕在化せず、順調な決算

1月下旬から発表がスタートした10-12月期決算では、コンテンツ関連株は総じて良好な内容が確認されました。

当ファンドの組入比率上位10銘柄(12月期決算企業を除く)では、第3四半期時点で会社計画に対する営業利益の進捗率が80%を超える銘柄が多く見受けられ、10銘柄中3銘柄が会社計画を上方修正しました。また、市場で懸念されていた①日中関係悪化による海外ビジネスの悪化、②半導体価格高騰による収益性悪化といった影響は現時点では顕在化しておらず、株式市場の懸念を後退させる順調な決算であったと評価しています。

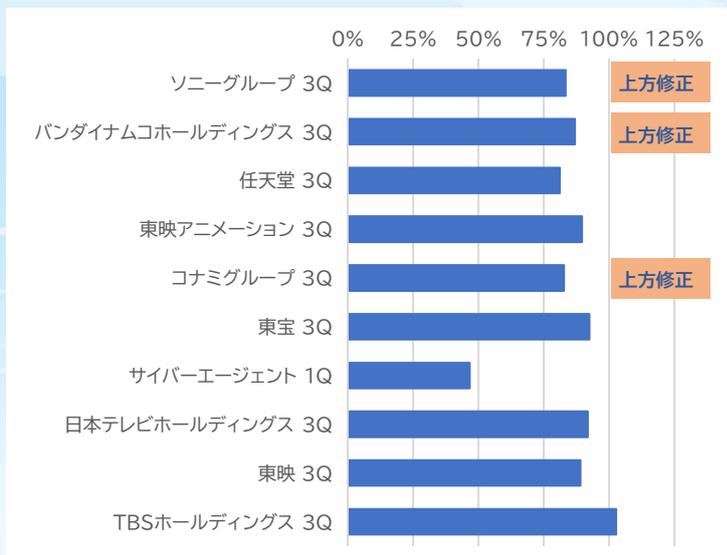
強まるコンテンツ関連株の割安感

中長期的な成長力から高まる投資妙味

業績が堅調に推移する中で株価の調整が進んだ結果、コンテンツ関連株の予想PERはヒストリカルで見ても低位な水準にまで切り下がっており、割安感が強まっています。生成AIの急速な進展という大きな構造変化が意識される中、市場では期待と懸念が入り混じり、評価が定まりにくい状況が続いています。その結果、足元では株価下落によりPERが大きく低下し、ファンダメンタルズとの乖離が拡大していると分析しています。

もっとも、株価は中長期的には企業の収益力に収斂すると考えられます。したがって重要なのは、生成AIが普及する環境下においても競争優位を維持し、継続的に業績を伸ばしていける企業を見極めることだと考えています。特に、すでに世界的に高い人気を有するIPを保有している企業は、AIが普及する環境下においてもブランド力やファン基盤を背景に成長を継続できるとみられます。足元では市場の懸念を背景に株価水準が切り下がっており、中長期的な成長力を踏まえれば投資妙味は高まっていると判断しています。当ファンドでは、こうした銘柄への投資を積極的に行っていく方針です。

図表3 10-12月期決算の営業利益の進捗率



※対象銘柄は2月10日時点の組入比率上位10銘柄(12月決算企業を除く)
・サイバーエージェントは9月期決算のため1Qの進捗率
また会社計画がレンジ開示のためレンジの下限に対する進捗率
・上方修正した銘柄は修正後の会社計画に対する進捗率を表示

(出所)各種資料を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表4 主要コンテンツ関連株のPER推移

(期間:2021/1/4~2026/2/20、日次)



※主要コンテンツ関連株のPER:単純平均予想PER
※主要コンテンツ関連企業として、ソニーグループ、任天堂、コナミグループ、バンダイナムコホールディングス、東映アニメーションを使用

(出所)Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

販売会社一覧

2026年2月26日現在

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
三津井証券株式会社	北陸財務局長(金商)第14号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

委託会社
お問い合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンドに関する留意事項

■ 投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「流動性リスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

■ お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料： $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限} 3.3\%$ (税抜3.0%)
 - 換金手数料：**ありません。**
 - 信託財産留保額：**ありません。**
 - 運用管理費用(信託報酬)： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.628\%$ (税抜1.48%)
 - その他費用・手数料：監査費用[$\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.011\%$ (税抜0.01%)]
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにご当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。